

週報みえぎよれん

★浜に身近な話題をお届けする関係者向けミニ情報誌★

編集・発行

JF 三重漁連指導部

TEL:059-228-1205

FAX:059-225-4511

本紙は三重漁連ホームページ (<http://www.miegyoren.or.jp/>) での閲覧を推奨します (PDF ファイル)。

第 70 回浅海増殖研究発表全国大会 6/9 宮城にて開催



6 月 9 日、宮城県塩竈市において第 70 回浅海増殖研究発表全国大会（主催：浅海増殖研究中央協議会、全国海苔貝類漁業協同組合連合会）が開催されました。同大会は、年に一度ノリ生産者をはじめとする浅海増殖業者の生産技術、経営問題等の研究発表と会員間の交流を図ることを目的に開催されているもので、新型コロナウイルスの影響により一昨年、昨年と中止が続いたため、今年は 3 年ぶりの開催となりました。

大会冒頭、前回大会で地区漁業の構造転換を目指したアオノリ（ヒトエグサ）養殖の研究発表で農林水産大臣賞を受賞した本県の香良洲漁協アオノリ研究会が大会旗と殖田杯の返還を行い、その後、全国のノリ主要産地から 5 グループが研究発表を行いました。

結果、「漁場行使から検討した生産対策」として岸側漁場の活用による黒のり

食害対策、青混ぜ海苔の試験生産、支柱柵ノリ養殖の復活に関する取組みを発表した千葉県富津漁業協同組合海苔研究会が農林水産大臣賞を受賞しました。

JCI の船検を！ 小型漁船の安全対策について



小型船舶は、漁業者が海岸から 12 海里を超えて操業する場合、遊漁船やレジャー用に使用する場合（漁船を臨時的に使用する場合も含む）は、船舶安全法に基づき、船舶の安全性を定期的に検査する必要があります。

船舶は、洋上で転覆・火災・エンジントラブル等が発生すると、陸域から離れている分、生命に関わるような大事故につながる恐れがあるため、所有者の適切な安全対策が求められます。

船検により安全対策が適切であるか

を確認することは、自らの命を守ることにも繋がりますので、今一度、受検の徹底をお願いします。

水産庁補助事業

船舶自動識別装置導入促進事業公募開始

高齢漁業者の安全対策の一環として、高齢漁業者が操船する小型漁船（20 トン未満）への船舶自動識別装置（AIS）の導入促進を目的とした水産庁補助事業「船舶自動識別装置導入促進事業」の 1 次公募が 5 月 27 日から開始されました。

同事業は 65 歳以上の漁業者が対象で、小型漁船への AIS 導入・設置費用について、対象漁船ごとに 10 万円まで助成が受けられます。

詳細は、申請窓口（一社）海洋水産システム協会のホームページにてご確認ください。

○申請期間

〔1 次公募〕

2022 年 5 月 27 日～8 月 31 日

○補助金額

対象漁船ごとに上限 10 万円

○補助対象者

65 歳以上の漁業者（2022 年度中に 65 歳になる方を含む）が操船することが予定されている小型漁船（20 トン未満）の所有者

○その他

- ・中古品やリースによる調達は対象外
- ・他の AIS 導入制度との併用不可

○問い合わせ先

（一社）海洋水産システム協会
TEL：03-6411-0021

三重県農林漁業就業・就職フェア 2022

7 月 2 日（土）津市にて開催



県内の農林業に就業・就職を希望する人や U・I ターン希望者を対象とした「三重県農林漁業就業・就職フェア 2022」が 7 月 2 日（土）、津市の三重県総合文化センターにて開催されます。

（公財）三重県農林水産支援センター主催の同フェアは、情報誌やハローワーク等の一般求人募集とは異なり、農林業への就業や研修による技術習得を目指す人へ、県内の農林漁業に関する情報や受入経営体との相談の場を提供することを目的としています。農林漁業の経験がない場合は、研修や体験の相談も可能です。参加は事前予約制のため、興味のある方は、三重県農林水産支援センターのホームページをご覧ください。

【主な予定】

○6 月 28 日（火）

・漁連通常総会（津）

本文の無断転載・転用等は固くお断りします。